

■共感的に聴く

健康診断で校医さんに診ていただく機会が何度かありました。診断ですので静かに、そしてスムーズに進めてもらう必要があります。そんな雰囲気を感じて、大きな声で、そしてハキハキとした「お願いします。」「ありがとうございました。」ではなく、あえて軽く会釈をしたり、校医さんだけに聞こえるくらいの声で「ありがとうございました。」と言ったりする府中っ子に感心しました。

児童集会や全校集会での元気な挨拶と同じくらい、すてきな挨拶でした。

さて、新年度が始まり1ヶ月が経ちました。入学してきた1年生は学校の生活リズムにも少しずつ慣れ、学習や学校生活に興味や関心をもって、いきいきと過ごしています。学年が一つ上がった2年生以上の子どもたちも、新しい担任とともにこの1年間で目指す学級目標を意識した良いスタートが切れました。

一方で、良い意味での緊張感や学年初めの意気込みがどうしても減退してくるこの時期は、学習や友達との関わりなどに対して、漠然とした不安や焦り、停滞感などを感じ、心がうつむきがちになってしまう場合があるかもしれません。わたしたち教職員も、この5月は「子どもの心を理解する強化月間」として取り組むこととしています。

また、学年や発達段階にもよりますが、子どもたちは保護者の方に話を聞いてほしいという気持ちをもっていると思います。ご家庭におきましては、お子さんと学校での様子について話をする時間を設けていただくとありがたいです。その際に、

「今日はどんな楽しいことがあった？」

「今日、学校で楽しかったことを〇個教えて！」

みたいな声かけはどうでしょうか。子どもたちの心身が疲れていたとしても、「明日の登校、友達や先生と過ごすことが待ち遠しくなる、楽しみになる。」ような見方や考え方、期待感が育まれると考えます。

もちろん、お子さんが嫌なこと・困ったことを表現したときには、遠慮なく、学校に連絡願います。じっくりと話を聴き、受け止め、その気持ちに寄り添って、一緒に考えます。

あす10日（金）は縦割り遠足です。お弁当の準備と併せて、お子さんの下校後に、遠足の様子について是非お話してください。



（校長 山本 考一）

校長ブログ：府中っ子の学校での様子をお伝えします。（パスワード： ）